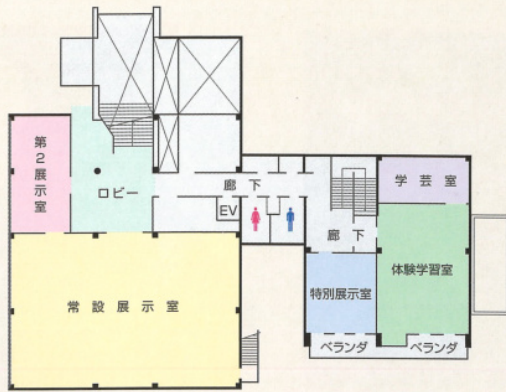
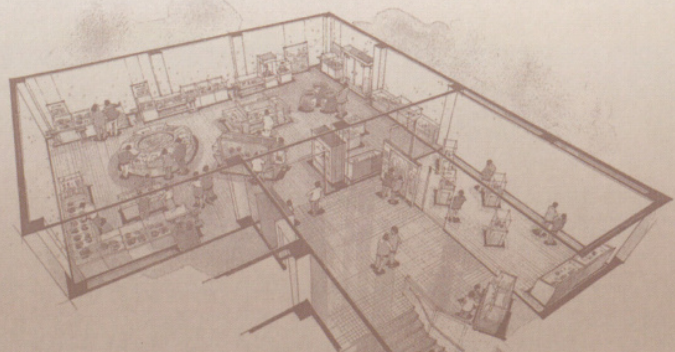
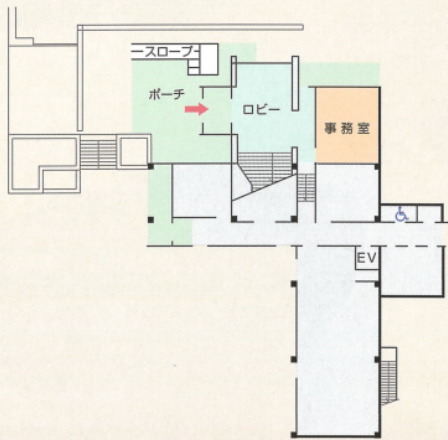


館内ご案内

2f



1f



利用案内

開館時間:午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日:3月~11月 月曜日(休日の場合はその翌日)
12月~2月 平日・年末年始
観覧料:大人(高校生以上) 200円(150円)
〔 〕内は団体料金(20名以上)
小人(小・中学生) 無料

お客様へのお願い

当館では、模型や展示物等のガラスケースをできるだけ取り払い、皆さまにより良い環境を提供できるようオープン展示にしています。
この展示方針にご賛同いただき、体験コーナー以外の展示物にはお手を触れず、ご観覧ください。

松本市立博物館 分館
松本市立考古博物館

〒390-0823 長野県松本市中山3738-1
TEL:0263-86-4710 FAX:0263-86-9189
URL <http://www.matsu-haku.com>
E-mail kokohaku@city.matsumoto.lg.jp



Matsumoto City Museum of Archaeology

松本市立博物館附属施設

松本市立考古博物館



Matsumoto City Museum of Archaeology

松本市立考古博物館は、昭和6年(1931)、中山尋常高等小学校に創設された中山考古館を前身とします。その後、昭和61年(1986)に中山考古館が発展的解消するかたちで考古博物館が現在地に開館、県内35番目となる博物館法による登録を受けました。平成15年度に大規模な改修工事を行い、展示内容を一新し、体験学習室を設けるなど、より多くの皆さんにとって親しみやすい博物館として生まれ変わりました。

当館は、個性豊かな松本市の博物館群の一翼を担うとともに、松本市域の考古学の拠点として、歴史を刻み続けてきました。これまでの歩みの中でも、県宝指定を受けた弘法山古墳の鏡や玉などの出土品、全国屈指の出土量となったエリ穴遺跡の土製耳飾りは特に注目されます。これらの考古資料をとらえて松本の古代ロマンに触れてみませんか。



1



2



3

1 縄文土器 (雨湿遺跡・縄文時代)

縄文人がナベとして使った土器です。当時の人たちは山や野でけものをとったり、木の実や野草を食べて暮らしていました。

2 土製耳飾り (エリ穴遺跡・縄文時代)

エリ穴遺跡では、2,500点を超える土製耳飾りが見つかっており、アクセサリーとして、人生の節目に身に付けたのではないかと考えられています。

3 弥生土器 (県遺跡・弥生時代)

米を作るようになって人々の暮らしは豊かになりました。弥生土器はモミを蓄えるための壺や盛り付けの高杯が特徴的です。

4 壺・高杯・手焙形土器 (弘法山古墳・古墳時代)

弘法山古墳は、長野県内で最古の古墳と考えられています。この土器は、底に穴があげられていて、埋葬が終わった後に古墳の上で行う儀式で使われたものです。

5 奈良三彩小壺 (下神遺跡・奈良時代)

緑・黄・茶色の三色に彩られた薬壺です。このやきものは、近畿地方で作られたもので、長野県下ではわずかに数点しか見つかっていません。

6 「長良私印」銅印 (三間沢川左岸遺跡・平安時代)

奈良・平安時代になると印が使用されはじめ、この私印は、地方の有力者が公的な文書に使用したものと考えられています。



4



5



6

